

学科名	電気通信工学科							
科目名	計測工学(再履修クラス集中講義)							
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次後期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)							
担当者	江崎 秀							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・回路に計測器を接続し、計測器の接続による誤差を見積ることができる。(A6,B1) ・信号が直流、交流、不規則、一過性の信号に分離できることを理解する。(A7,B2) ・信号を直流成分と交流成分に分離し、交流成分のパラメータを求めることができる。(A7,B2) ・計測における回路の特徴を理解し、演算増幅器による基本演算回路を設計できる。(A6,B1) ・基本的な計測器のデータシートを読むことができ、実務に適切な装置を選ぶことができる。(B1) 							
日程と内容	10/25 第1回 ガイダンス 11/22 第2回 演習1 11/22 第3回 演習2 11/22 第4回 演習3 11/29 第5回 演習4 11/29 第6回 演習5 12/6 第7回 演習6 12/6 第8-9回 演習7 11/22 第10-11回 課題1 11/22 第12-13回 課題2 12/13 第14-15回 課題3 12/13 第16回 定期試験							
成績評価基準	定期試験	50%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	30%		0%
	演習	20%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・回路に計測器を接続し、計測器の接続による誤差を見積ることができる: 到達した ・信号が直流、交流、不規則、一過性の信号に分離できることを理解する: 十分ではなかった ・信号を直流成分と交流成分に分離し、交流成分のパラメータを求めることができる: 到達した ・計測における回路の特徴を理解し、演算増幅器による基本演算回路を設計できる: 到達した ・基本的な計測器のデータシートを読むことができ、実務に適切な装置を選ぶことができる: 到達した 							
反省点	再履修生向けの集中講義ということで、2年次生向けの授業とは異なる授業形態にした。学生によって理解度が大きく異なるので、課題を個別指導する形式にした。他方、通常の座学講義を実施しなかったため、課題を出さなかった授業内容を聞く機会がなかったことは若干問題が残った。							
来年度の計画	来年は、再履修クラスは開講しない予定である。							
授業評価アンケートに対するコメント	課題と演習に的を絞りと、通常の座学授業を実施しなかったが、総合評価は8.4点と良好だった。それ以外の項目についても、特筆する点数はなかった。二度目の授業であり、合格することに主眼を置いたので、受講生もその趣旨を十分理解した者と思われる。							
履修登録者数	28名	定期試験 受験者数	21名	合格者数	19名	合格率	90%	